

[ピリダリル水和剤]

農林水産省登録 第21333号

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：100 ml・500 ml：5年、5 l：4年

包 装：100 ml×60本、500 ml×20本、5 l×2本

# プレオ® フロアブル

有効成分：ピリダリル ……………10.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

## [適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハイマダラノメイガ ウワバ類	1000倍	100~300 l	7日前	2回
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ オオタバコガ				
非結球あぶらな科 葉菜類(こまつな、 みずなを除く)	コナガ ハスモンヨトウ				
こまつな みずな				前日	
だいこん	コナガ カブラハバチ アオムシ ヨトウムシ			14日前	
レタス	アザミウマ類			7日前	
立ちちしゃ リーフレタス	ナモグリバエ ハスモンヨトウ オオタバコガ				
なす	ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類 ハモグリバエ類			4回	
トマト ミニトマト	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類			前日	
ピーマン	アザミウマ類				
とうがらし類	タバコガ類			2回	
にんじん	アザミウマ類				
ねぎ	ハスモンヨトウ			3日前	
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギアザミウマ	4回			
たまねぎ	シロイチモジヨトウ ネギアザミウマ ハスモンヨトウ	2回			
かぶ	ハスモンヨトウ				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
アスパラガス	ハスモンヨトウ ヨトウムシ オオタバコガ ネギアザミウマ	1000倍	100~300ℓ	前日	2回
きゅうリン メロリン	ハモグリバエ類 アザミウマ類 ウリノメイガ				
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ			4回	
カリフラワー	コナガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	1000~2000倍	800ml	3日前	2回
茎ブロッコリー	ハスモンヨトウ				
ブロッコリー	コナガ				
豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)	ハスモンヨトウ	1000~2000倍	7日前	2回	
	オオタバコガ ハモグリバエ類	1000倍			
だいず	ハスモンヨトウ	8~16倍(※)	800ml	7日前	2回
	マメシンクイガ	1000~2000倍			
豆類(未成熟)	ハスモンヨトウ	1000倍	100~300ℓ	前日	2回
	ハモグリバエ類 オオタバコガ				
オクラ	ハスモンヨトウ	1000倍	100~300ℓ	7日前	2回
未成熟とうもろこし	オオタバコガ				
ばれいしょ	ハスモンヨトウ	1000~2000倍	100~300ℓ	7日前	2回
さいも	ズメガ類	1000倍			
かんしょ	ハスモンヨトウ	1000~2000倍			
花き類・ 観葉植物	オオタバコガ ハスモンヨトウ	1000倍	100~300ℓ	発生初期	4回
	きく(葉)			オオタバコガ	
さんしょう(葉)	アゲハ類	1000倍	100~300ℓ	21日前	2回
食用ミニバラ	ハスモンヨトウ			前日	
食用ぎく	オオタバコガ	1000倍	100~300ℓ	7日前	2回
しそ(花穂) パジル	ハスモンヨトウ				
たらごん		ハスモンヨトウ	1000~2000倍	100~300ℓ	前日
しゅんぎく にがうり しょうが					
そば	ヨトウムシ	1000~2000倍	100~300ℓ	前日	2回
セルリー	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	1000倍			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
すいか	ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ	前日	2回
ほうれんそう	ハスモンヨトウ ハマグリバエ類				
にら	ネギアザミウマ				
なばな類	コナガ ハスモンヨトウ			14日前	

表中の※は無人航空機による散布  
使用方法：散布

## 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振る。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
  - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
  - 無人航空機による散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用する。
  - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
  - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
  - 散布終了後は次の事項を守る。
    - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
    - ・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
    - ・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布液調製後は、そのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 浸透移行性に乏しいので、かけムラのないようにていねいに散布する。

## 安全使用上の注意

- 誤飲など無いように注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意する。
- 皮ふに付着しないよう注意する。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。（刺激性）
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理

する。

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

### 〔品目特性〕

- 優れた殺虫活性 チョウ目及びアザミウマ目に高い活性があります。
- 優れた耐雨性と残効性があります。
- 天敵・有用昆虫に対する影響が少ないです。

総合的病害虫管理（I P M）に適合します。ハナカメムシ類等の天敵を利用した防除体系への取り組みができます。